



地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

現在活動している協力隊〈11月末現在〉

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人
起業型▷11人 協働型▷12人 福祉▷1人

農業支援員
しが ゆういち
志賀 裕一さん

着任：令和3年4月(3年目)
出身：埼玉県戸田市



—就農を志したきっかけを教えてください。

結婚して、夫婦の時間を大切にゆっくり暮らすことを夢見ていましたが、鉄道会社に勤めていたので夜勤が多く、夫婦で過ごす時間が少なかったため転職を決意しました。幼少のころ、熊本県で暮らす祖父母のところへ遊びに行くと、二人仲良く楽しそうに農作業をしていました。その光景を思い出して農業をやりたいと思いました。

—実際に厚真町で過ごしてみた感想は？

町内の複数の農家さんから懇切丁寧に教えていただきました。すごく面倒見のいい師匠たちと出会えてうれしく思っています。地域の仲間にして欲しいという思いで、自治会活動には積極的に参加するようにしています。電話帳で、同じ自治会の人の名前を一生懸命覚えめました。活動に参加するたびに顔と名前が一致していきました。妻も積極的に農家さんへ働きに行っています。

—3年間でどのようなことを学びましたか？

ひと言で言うと、農業のことすべてですね。作物の育て方や育苗の仕方から営農計画まで、数多く学びました。ようやく、就農に向けてスタートラインに立つための準備が整った感覚です。これから分からないことが出てくるだろうし、さまざまな壁にぶつかるとは思いますが、学びながら進めていきます。

—今後の夢や目標を教えてください。

就農後は、ほうれん草とカボチャとブロッコリーの生産を計画していて、まずは、地域の人と同じくらいの基準でほ場を管理できるようになりたいです。自分でやると決めた作物をしっかりと作れるように頑張っていきます。将来はブロッコリーの専業農家になって、輪作に困っている人の役に立てるようになります。

—町民にメッセージをお願いします。

着任前に思い描いていたことが叶いつつあるのは、地域の皆さんのおかげです。移住のチャンスを与えてくれた厚真町、学ぶ環境を作ってくれた研修農場、4年前に見学に来た時に生の声を聴かせてくれた先輩たちに感謝しています。中でも一番感謝しているのは、妻ですね。これからも妻と二人三脚で農業を学びながら楽しく生活していきます。